

さとう重症心身障害児支援センター
事業所職員における放課後等デイサービス自己評価表

令和2年5月実施 回収率 87.5%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1		○遊びのスペースを十分確保している ○マット部分とベッド部分を分けている為危険が少ない
	2	職員の配置数は適切であるか	4	1	2	○長期休みや平日夕方の職員数が不足することがあるので連携を図る必要あり ○保育士の数が足りない ○基準を満たす配置数ではあるが対応が厳しい時間帯もある
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	1		○マット部分とベッド部分を分けている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	1	2	○週1回業務に関わる職員で会議を行い情報の共有をしている
	5	保護者等向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	2	1	○初回の為未実施 ○未だ調査実績なし(今後アンケート結果を元に改善) ○サービス管理責任者が保護者等の意向を確認し週1回の会議等で情報共有をしている ○開所が昨年で調査は今年から、業務改善はこれから
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	1	4	○初回の為未実施 ○初年度実績を今年度ホームページ公開が望ましい ○今年から公開していく予定
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2		5	○未実施 ○初年度実績を今年度外部評価することが望ましい
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1		○年2回事業所内で研修を行っている ○定期的に研修の場を設けている
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	2		
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	1	4	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	2	1	○週1回会議で行っている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	2		○季節感を大切にしている ○季節等で活動を工夫している ○子供たちに四季を感じてもらえるよう工夫している

	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	3	1	○平日は少ない時間でも出来る活動を話し合い行っている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1	2	
	15	支援開始前には、職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	1		○保育士、児童指導員間で行っていることが多く今後は配置された看護師も役割分担等確認する必要がある ○週1回の会議で情報共有している
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2	1	○必ず時間を設けている訳ではない為、今後は時間を設け振り返りをする時間の必要がある
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1		○記録はしているが検証・改善は不十分 ○毎日支援内容、看護記録を行い検証・改善につなげられている ○日々記録はしている。週1回の会議で改善に向けて話し合いをしている
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	3		○毎月3カ月に1回相談員とモニタリングを行っている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	1	3	3	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	3		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7			○定期的、必要時に学校へ連絡、送迎時でも連絡調整を行っている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	7			○事業所の医師指示書を記入していただき主治医との連絡体制を整えている ○事前に主治医より指示書を作成していただき必要な情報は把握している
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	2	2	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	2	1	○当事業所から外部のサービス事業所へ卒業後に通所するケースがまだ無いため

の 連 携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3	2	○守谷市こども療育センターにて助言等を受けている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			6	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		1	5	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	2		○送迎時等に保護者と話をし状況や情報の共有をしている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	2	3	○ペアレント・トレーニング教本で学び支援をしている
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			○契約時に必ず丁寧な説明を心掛けている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	2		○主に相談員が相談に応じ他スタッフと情報共有した上で支援している ○送迎時に保護者と話す機会がある為その際事業所内での状況等話し必要な助言を行っている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	1	2	○昨年末にクリスマス会を実施し保護者間の交流を図ることができた ○現在クリスマス会のみ行い保護者同士の連携を行っている
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			○苦情等あった場合すぐに責任者へ報告し関係する職員等で話し合いを行い対応している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	2	2	○毎月会報に写真等を合わせ発信している。行事等はその都度発信している
	35	個人情報に十分注意しているか	7			○個人情報鍵のかかる棚で保管している
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	2		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	5	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	4	2	1	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に非難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	2		○防災訓練を定期的に行っている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	1	1	○年2回事業所内で研修を行っている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	2	1	○計画への記載がない ○現在児童に身体拘束する対象は無し ○事業所責任者、看護師、保護者と話し合いを行っている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5		2	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	1	3	○申し送りノートを活用しているがヒヤリハット問題について別に作成し共有する

令和2年児童発達支援・放課後等デイサービス自己評価表等の実施結果【令和2年5月実施】

平成27年4月に厚生労働省より、放課後等デイサービスの支援の質の向上を図るため、「放課後等デイサービスガイドライン」が定められました。今回そのガイドラインに基づく評価を実施し、「令和2年放課後等デイサービス自己評価結果」（保護者向け・事業所向け）がまとまりましたので、ここに公表します。アンケートにご協力いただきました保護者の皆様の貴重なご意見やご要望をたくさんいただきありがとうございました。これらを参考とし、今後の支援に生かしていきたいと思っております。